



《将来に向けた取組方針》

当グループは、中期経営計画におけるサステナビリティの重点課題（マテリアリティ）の1つに「地球環境との共生～ Planetary Health～」を掲げ、社会との共通価値を創造するCSV取組を進めています。今後も、「リスクソリューションのプラットフォーマー」として、地球環境にマイナスの影響をおよぼす課題やリスクを考慮し、また、ネイチャーポジティブな社会に向け、保険商品・サービスの提供による最適なソリューションを研究し、機会の創出に取り組んでいきます。

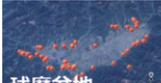
金融機関としてのGBFの実践

ターゲット 15. ビジネスにおける生物多様性に係るリスク、依存と影響を評価・開示し、ネガティブな影響を減少させる

2008 多分野グループの設立 ビジネスを持続可能にし、自然と調和させる方法を探求する  企業と生物多様性イニシアティブ	2021 当社社員がタスクフォースメンバーとして参画   Taskforce on Nature-related Financial Disclosures	2023 金融セクターのアライアンスを設立 FI が企業のネイチャーポジティブへの転換を支援・促進する金融の検討  ネイチャーポジティブ金融アライアンス	目的… ネイチャーポジティブに資する金融サービスの提供（ファイナンス、リスクソリューション）
--	--	--	---

保険会社としてのGBFの実践

ターゲット 11. 自然を活用した解決策／生態系を活用したアプローチを通じた、自然の寄与（NCP）の回復、維持、強化

流域防災 地域イノベーションへの挑戦  2020年 球磨川 大水害  球磨盆地	湿地保全による防災・減災機能と生物多様性の回復 上流の放棄された水田の湿地環境を保全する活動を、多様なステークホルダーと協働で実施  <ul style="list-style-type: none"> ■ アカデミア ■ 地方自治体 ■ NPO、NGO ■ 高校 ■ 地元農家 との連携・協働	目的 - 雨水の流出抑制による洪水防止 - OECMの認定(自然共生サイト) - 金融インセンティブの研究(保険商品・サービスの開発など)
--	--	---